



市内の気になる話題をご紹介します。

1/16.17 23.24 「湯けむり横丁にぎわいバザール」でおもてなし

下呂温泉ににぎわいを創出するため、阿多野湯けむり広場(旧下呂館跡地)で一般社団法人下呂温泉観光協会主催の「下呂温泉湯けむり横丁にぎわいバザール」が開催されました。

会場には、五平餅やみたらし団子、ビールなどのバザーが出品。来場者は会場に用意されたたき火で暖をとりながら、下呂市の特産品に舌鼓を打っていました。



たき火で暖をとりながら、特産品を堪能する来場者 = 森、「阿多野湯けむり広場(旧下呂館跡地)」

1/31 「雪像の親子ザル」が交通安全を呼びかけ

萩原町商工会青年部員で組織する地域活性化委員会が、萩原町奥田洞の国道41号線わきに干支にちなんだ親子ザルの雪像を作りました。

この取り組みは、交通安全の啓発を目的に毎年行っているもので、今年で26回目。同委員長の今井錦四郎さんは、「自分たちの取り組みが、交通事故の減少と地域の活性化につながれば」と話していました。



交通安全啓発のためのサルの雪像を作った地域活性化委員会の皆さん = 萩原町奥田洞

1/24 「新春餅つき大会」で世代を越えて地域のふれあい

菅田地区の活性化を目的に住民で組織された「クリエイティブすがたほたる」の会が、「新春餅つき大会」を開催。幅広い年齢層の50人が参加し、お年寄りの指導のもと、たき火で蒸したもち米を“石臼”と“きね”を使ってつきました。出来上がった餅は、きなこやあんこ、エゴマだれを付けてみんなで味わい、笑顔があふれる楽しい会となりました。



慣れない手つきで餅をつく小学生を、温かく見守るお年寄りや保護者 = 金山町菅田桐洞、菅田公民館

2/2 「災害時における救援物資提供に関する協定」を締結

下呂市は、災害時の飲料確保のため、コカ・コーラ・ライーストジャパン株式会社と協定を結びました。これにより、災害時に無料となる自動販売機の設置が進められ、また、備蓄用飲料水ペットボトル2,400本が毎年提供されることとなります。災害対応型自動販売機の1台目は、下呂庁舎に設置され、2台目以降は市内各所に設置していく予定となっています。



下呂市仕様にラッピングされた災害対応型自動販売機の前で握手を交わす勝浩二販売部長と野村市長 = 森、下呂庁舎1階